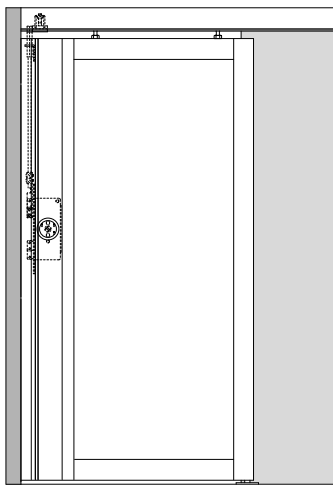
施工後、必ずお施主様にお渡しください。

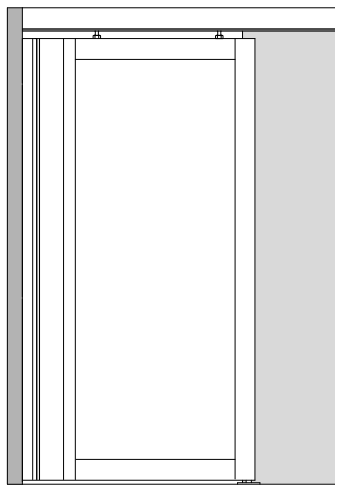
採光引戸ユニットＳＤ15仕様

一般タイプ　鍵付きタイプ　スリムタイプ

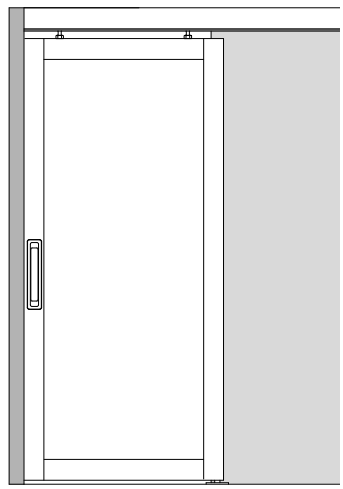
施工・取扱説明書



錠付きタイプ



一般タイプ



スリムタイプ

この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

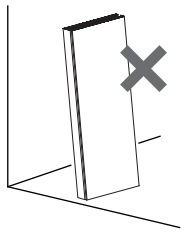
DAIKEN

施工及び使用上の注意

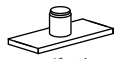
⚠ 施工上の注意

長期間安全に使えるように施工するために、また、
トラブルのない確実な施工をしていただくために、
以下のことを必ずお守りください。

●工事が完成するまでの間、
扉はたてかけて保管しないで
ください。
扉は平積み保管してください。



また、ガイドローラーは扉吊りこみまでの間に
無くさないように保管してください。



ガイドローラ

●扉・枠及び金具、採光部に工具などをぶつけたり、
運搬時にひきずらないようにご注意ください。

— 傷をつける恐れがあります。

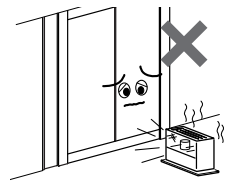
●扉が落下しないように、下記をお守りください。

— 扉の荷重は全て壁もしくは天井で支えますので、
必ず間柱や合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定
できるように下地の配置をお願いします。

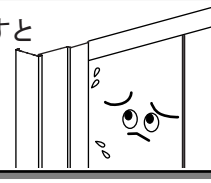
— レールは正しい位置に指定本数の指定ネジで確実
に行ってください。

●照明灯、ストーブ等を
近づけすぎないでください。

— 熱による変色、ふくれ等の
原因となります。



●温度差の激しい場所に施工されますと
アルミ枠部分に結露が生じる
場合がありますのでご注意
ください。



⚠ 使用上の注意

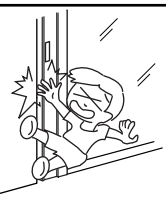
本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために、
ご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の
注意事項をよく理解してください。
この取扱い説明書はいつでも利用できるように、
大切に保管してください。

●扉の開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うと
扉が破損したり脱落する恐れがあります。

●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり脱落する恐れがあります。

●扉を開閉する際、指をはさまないよう、
注意して操作してください。

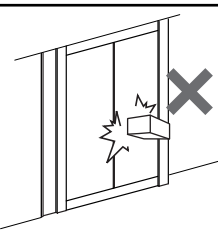
**※特に小さなお子様には
十分ご注意ください。**



●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

●採光部に強い衝撃を与えたり、
物をぶつけたりしないで
ください。採光部が割れる
恐れがあります。

**※特に小さなお子様には
十分ご注意ください。**

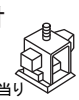


●高い防犯性が要求される場所には使用しないで
ください。

●走行時、異常音または扉の開閉が極端に重くなった
場合、すみやかに新品と交換してください。

●帯電防止剤は採光パネルが白化する場合がありますので、使用に際しては事前に予備テストを行い、十分に注意を払ってください。

●扱いが荒いと予想される場合、必ずストッパー付
戸当りを使用し、扉を当てて止めるようにして
ください。



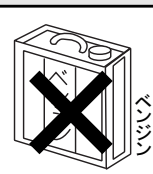
ストッパー付戸当り

お手入れの方法

採光パネルの汚れを落す時は水で薄めた中性洗剤を使用し、やわらかい布で
軽くふき取ってください。

※ シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤を含む薬品等の使用は
変色、キズの原因となるため使用しないでください。

中性洗剤



ベンジン

シンナー

目　　次

施工及び使用上のご注意

納 ま り 図 …… P1

部 品 明 細 …… P2

組 立 手 順 …… P3 ～ P6

取付け手順 …… P7 ～ P8

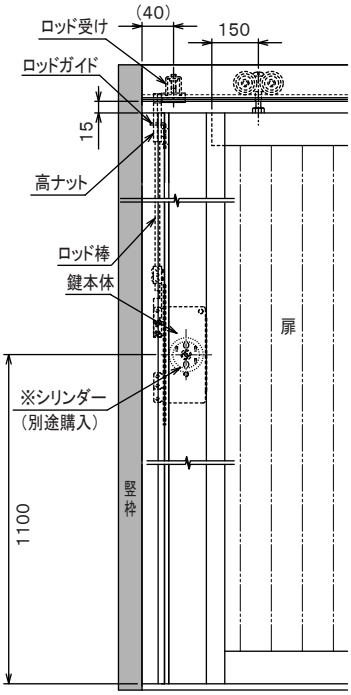
オプション部品 …… P9

ホルムアルデヒド発散区分について

本製品は規制対象外の部材のみを使用しておりますので
F☆☆☆☆ となります。（住宅部品表示ガイドラインによる）

納　ま　り　図

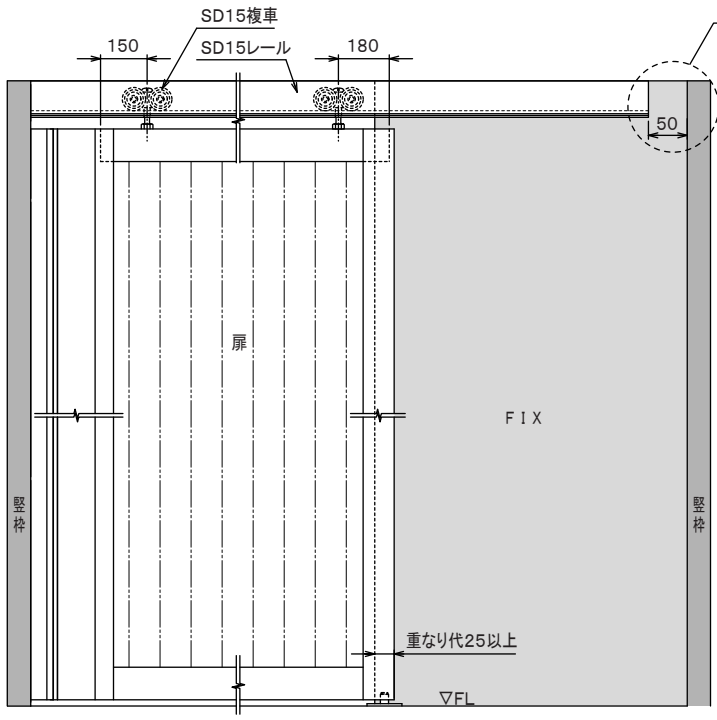
鍵付きタイプ 納まり図

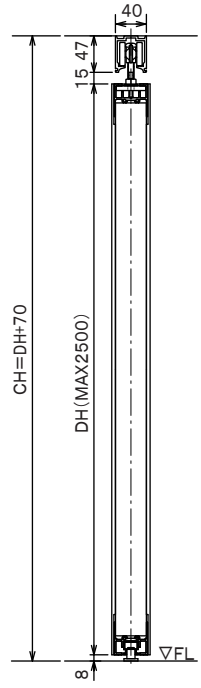


●天井面付けの場合（鍵付きタイプ）

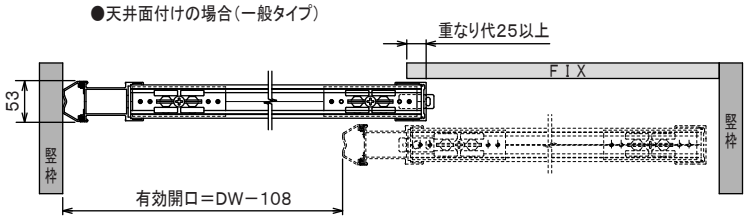
※使用可能シリンダー
美和ロック：POSTE錠（2F、4Fは使用不可）
ゴール　：TSD錠（両シリンダー仕様は使用不可）

一般タイプ 納まり図

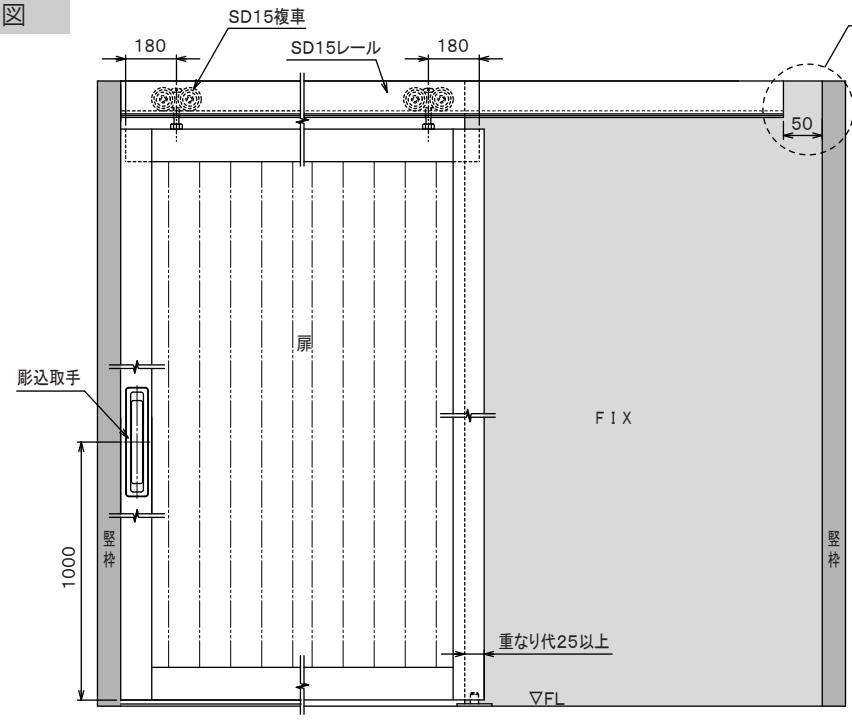


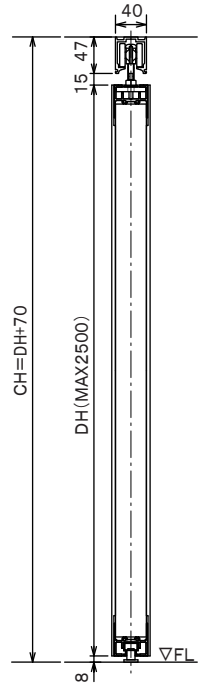


●天井面付けの場合（一般タイプ）

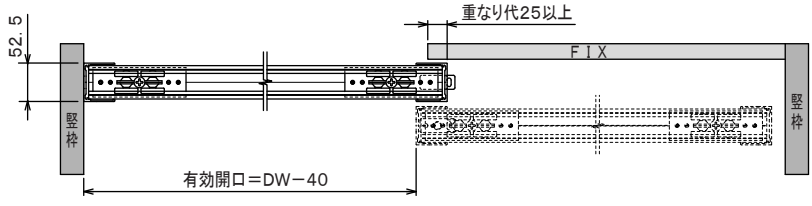


スリムタイプ 納まり図



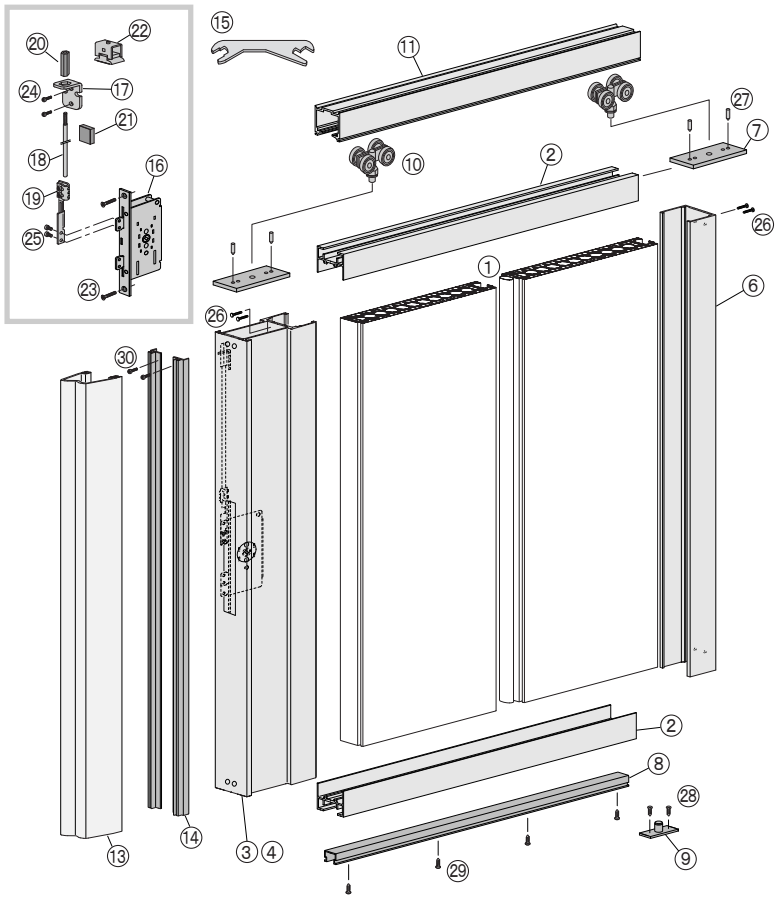


●天井面付けの場合（スリムタイプ）

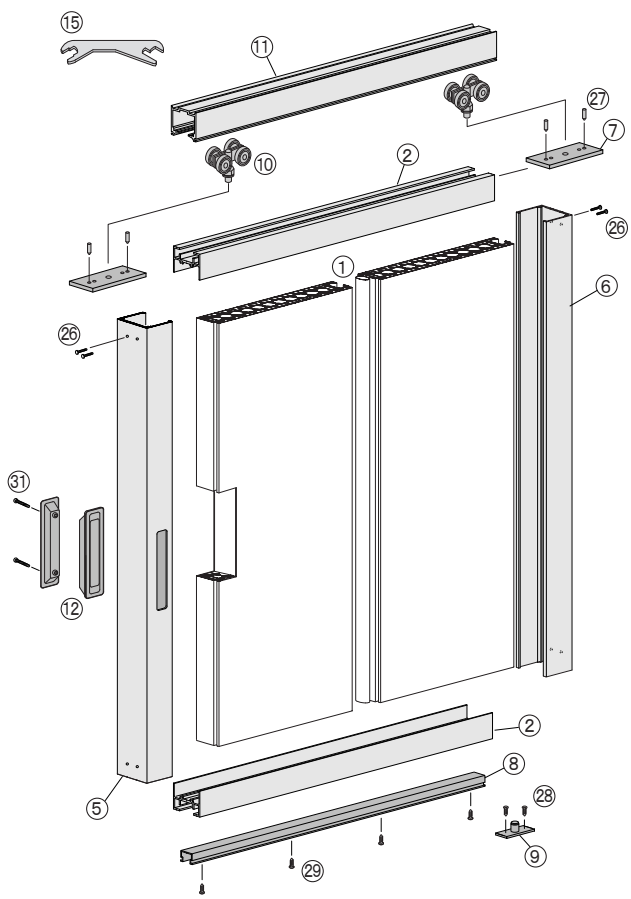


部　品　明　細

一般タイプ　/　鍵付きタイプ



スリムタイプ

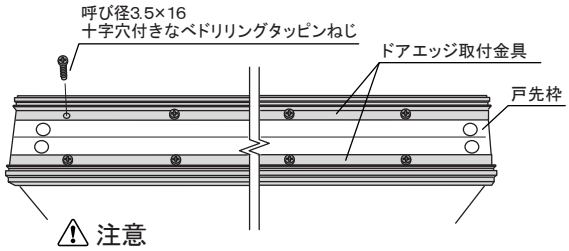


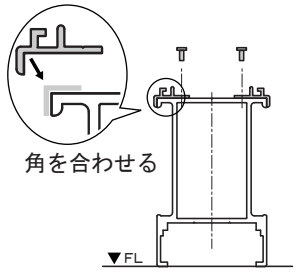
	名　称	材　質	個　数		
			一般タイプ	鍵付きタイプ	スリムタイプ
①	採光パネル	ポリカーボネート	※サイズにより枚数が変わります	※サイズにより枚数が変わります	※サイズにより枚数が変わります
②	上下枠	A6063S-T5	2	2	2
③	戸先枠	A6063S-T5	1	——	——
④	戸先枠(上部錠用)	A6063S-T5	——	1	——
⑤	戸先用戸尻枠	A6063S-T5	——	——	1
⑥	戸尻枠	A6063S-T5	1	1	1
⑦	ベースプレートA	SPHC	2	2	2
⑧	ガイドレール	A6063S-T5	1	1	1
⑨	ガイドローラー	6ナイロン SPHC・他	1	1	1
⑩	SD15 複車	SWRM POM・他	2	2	2
⑪	SD15 レール(取付ビス別途用意)	A6063S-T5	1	1	1
⑫	彫込取手	亜鉛ダイキャスト	——	——	1
⑬	専用ドアエッジ	PVC	1	1	——
⑭	専用ドアエッジ取付金具	A6063S-T5	1セット	1セット	——
⑮	SD15専用スパナ	SPHC	1	1	1
⑯	上部錠 本体	SPHC・他	——	1	——
⑰	ロッド棒ガイド	SPHC	——	1	——
⑱	ロッド棒	SWRM	——	1	——
⑲	ロッド棒ジョイント	SPHC	——	1	——
⑳	M6×50 高ナット	SPWC	——	1	——
㉑	ロッド棒振れ止めゴム	CR(硬度50°)	——	1	——
㉒	SD15戸当り(ロッド受けとして使用)	SPHC・他 シルバー色	——	1	——
㉓	呼び径4×16 十字穴付き皿ドリリングタッピンねじ	SWCH	——	2	——
㉔	呼び径3.5×16 十字穴付きなべドリリングタッピンねじ	SWCH	——	2	——
㉕	M4×6 なべ小ねじ(青色メック付き)	SUS	——	2	——
㉖	呼び径4×30(G=5 2種ガイド付き皿小頭ねじ)	SUS	8	8	8
㉗	M5×16 六角穴付き止めねじ とがり先	SWCH パーカー	4	4	4
㉘	呼び径5×25 十字穴付き六角タッピンねじ	SWCH	2	2	2
㉙	呼び径4×13 十字穴付き皿小頭ドリリングタッピンねじ	SWCH	4	4	4
㉚	呼び径3.5×16 十字穴付きなべドリリングタッピンねじ	SWCH	22	22	——
㉛	呼び径4×30 十字穴付き皿小ねじ 小頭	SWCH	——	——	2

組　立　手　順

1 戸先枠の準備

一般タイプ の場合





● 戸先枠のコの字側を下にして水平な場所に置き、ドアエッジ取付金具を呼び径3.5×16十字穴付きなべドリリングタッピンねじで取付けます。

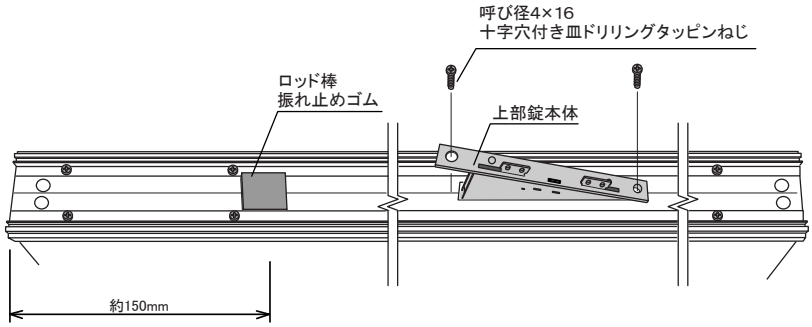
DHが2000mm以下の場合は、取付ビスが4本余りますが、不要ですので捨てて下さい。

ドアエッジ取付金具をビスで固定する際は必ず戸先枠の角にしっかりつき当てながら固定してください。

⚠ 注意

扉を組立てる時は傷防止の為にダンボール等クッション材を敷いて作業してください。

鍵付きタイプ の場合

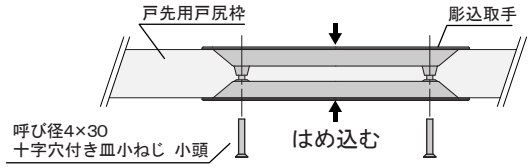


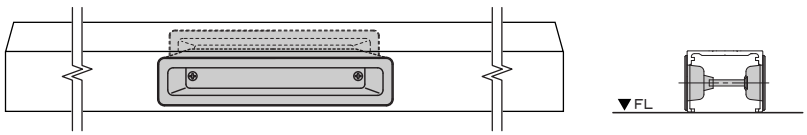
① 一般タイプの場合と同じ方法でドアエッジ取付金具を取付けます。

② ロッド棒振れ止めゴムを扉上面より約150mm下の位置に貼付けます。

③ 上部錠本体を戸先枠の切り欠き穴に入れ呼び径4×16十字穴付き皿ドリリングタッピンねじで取付けます。

スリムタイプ の場合

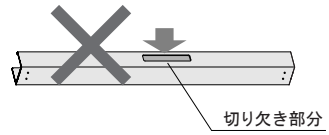




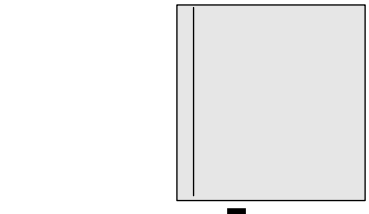
● 戸先用戸尻枠の切り欠き穴に彫込取手をはめ込み、呼び径4×30十字穴付き皿小ねじ 小頭で取付けます。

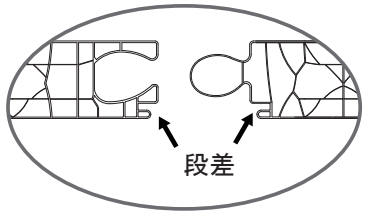
⚠ 注意

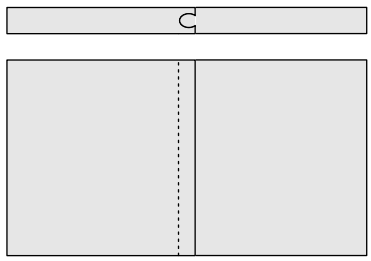
彫込取手を固定するまで、戸先用戸尻枠の切り欠き部分は強度が低下しています。
切り欠き部分に荷重をかけないでください。



2 戸先枠の準備



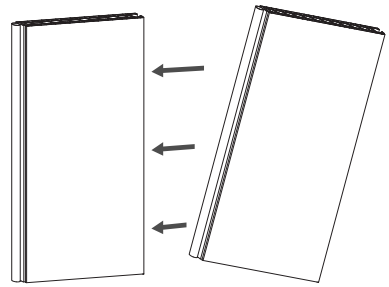




① 採光パネルの凸凹部横の段差がある面をすべて同じ方向に合わせてください。

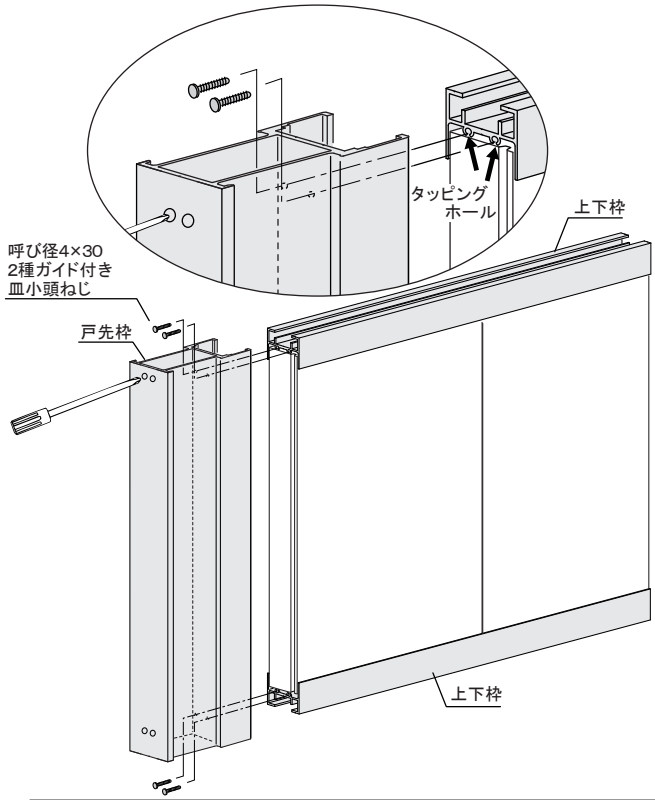
② どちらか端部よりスライドしてはめ込んでください。

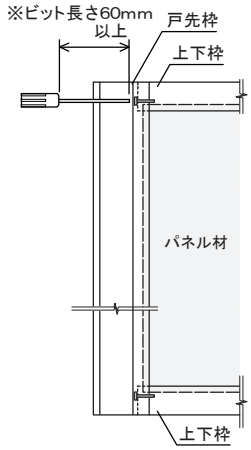
作業スペースが広く取れない場合は両側より押し込んでください。



3 上下枠と戸先枠の組立て

一般タイプ / 鍵付きタイプ の場合





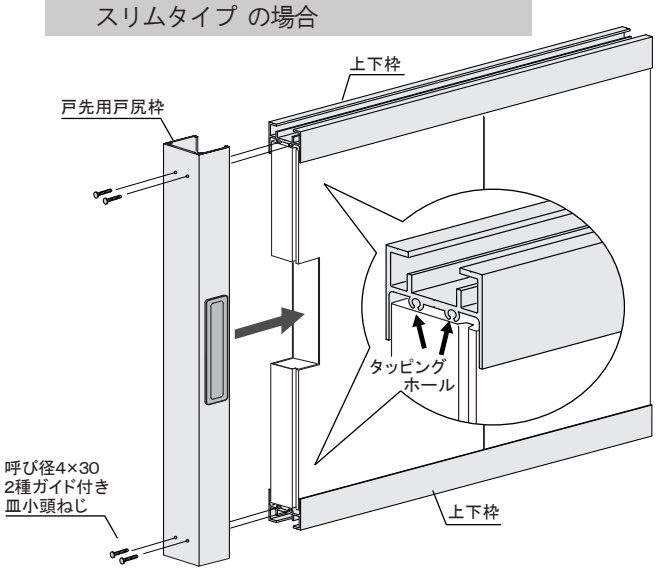
① **2** で組立てた採光パネルの上下に上下枠をはめ込みます。

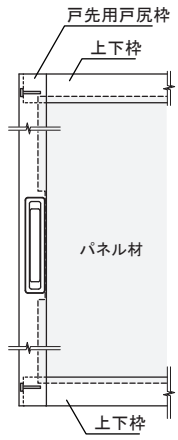
② 上下枠のタッピングホールを利用して戸先枠と上下枠を呼び径4×30 2種ガイド付き皿小頭ねじで止めます。

⚠ 注意

戸先枠と上下枠をビス止めする時は
ビットの長さが60mm以上のドライバーを
使用してください。

スリムタイプ の場合

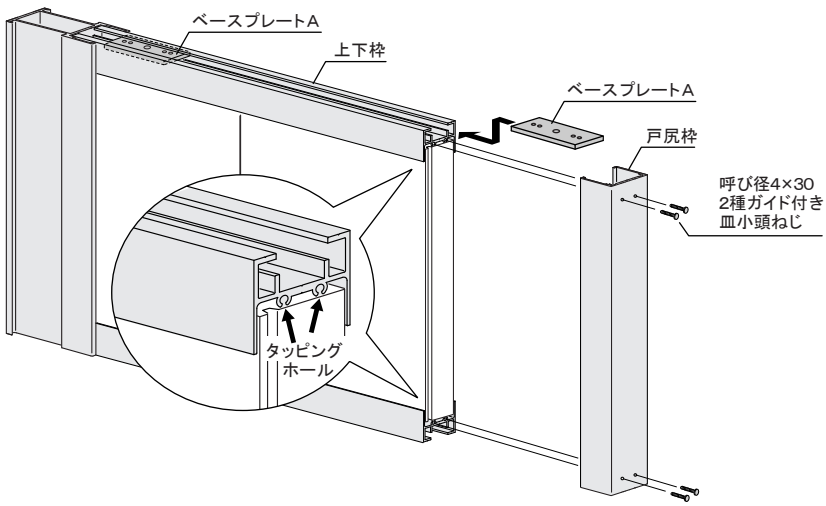




① **2** で組立てた採光パネルの上下に上下枠をはめ込みます。

② 採光パネルの切り欠き側に戸先用戸尻枠をはめ込み、上下枠のタッピングホールを利用して戸先枠と上下枠を呼び径4×30 2種ガイド付き皿小頭ねじで止めます。

4 上下枠と戸尻枠の組立て



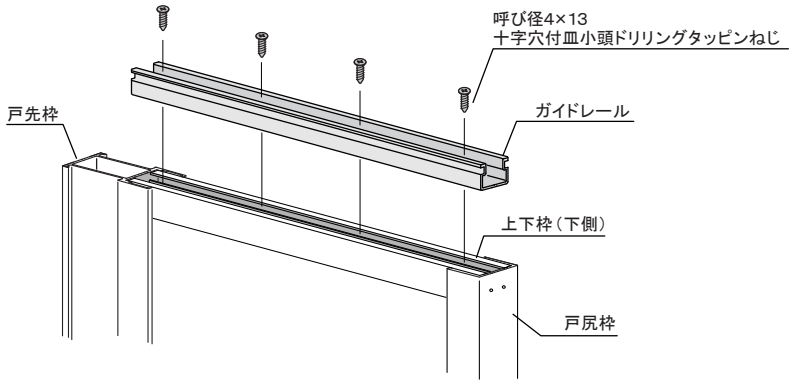
① 上下枠上側の内溝にベースプレートAを2枚入れます。

② 上下枠のタッピングホールを利用して戸先枠と上下枠を呼び径4×30 2種ガイド付き皿小頭ねじで止めます。

⚠ 注意

戸尻枠をビスで固定する前に忘れず先に
ベースプレートAを上側の上下枠に入れてください。

5 ガイドレールの取付け



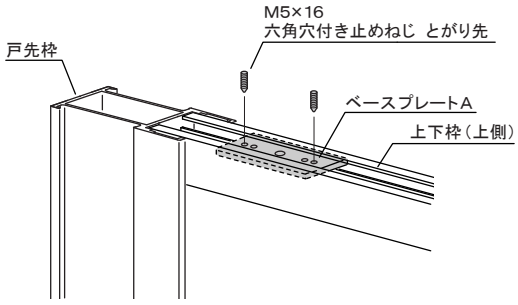
① 4 で組立てた扉の上下を反転させます。
② 上下枠の溝の中にガイドレールを入れます。
③ 呼び径４×１３十字穴付皿小頭ドリリング
タッピンねじでガイドレールと上下枠を止めます。

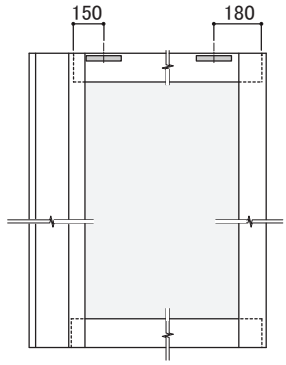
⚠ 注意

下にダンボール等クッション材を敷いて
作業してください。

6 ベースプレートAの固定

一般タイプ / 鍵付きタイプ の場合





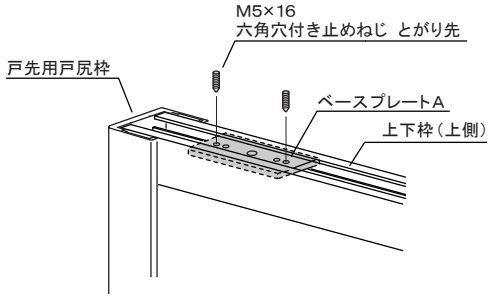
● 上下枠に 3 で先に入れておいたベース
プレートAを図の位置にスライドさせ固定します。

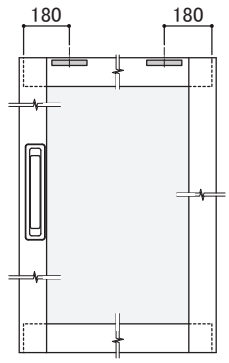
⚠ 注意

ベースプレートの中心が上下枠の中心より
ずれないようにしてください。

※ ビス先を上下枠のV字溝に合わせると
中心がズレません。

スリムタイプ の場合





● 上下枠に 3 で先に入れておいたベース
プレートAを図の位置にスライドさせ固定します。

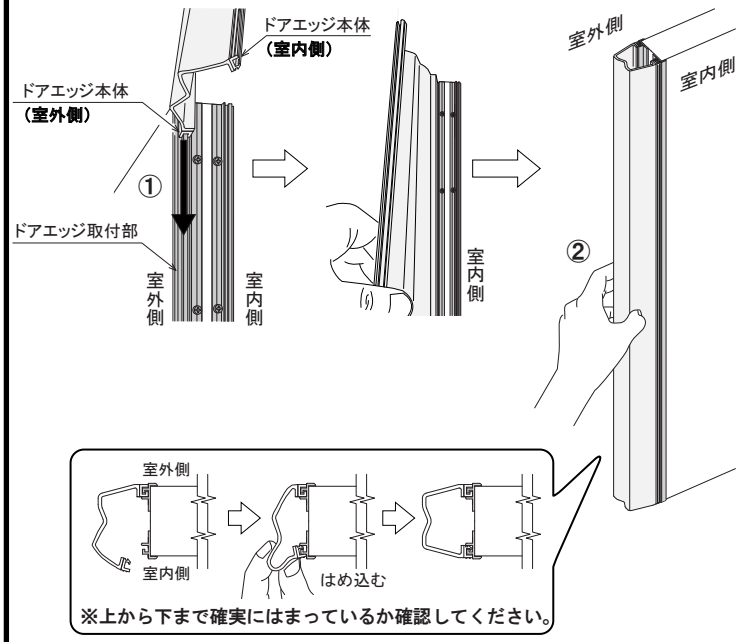
⚠ 注意

ベースプレートの中心が上下枠の中心より
ずれないようにしてください。

※ ビス先を上下枠のV字溝に合わせると
中心がズレません。

7 ドアエッジ本体の取付け

一般タイプ / 鍵付きタイプ のみ

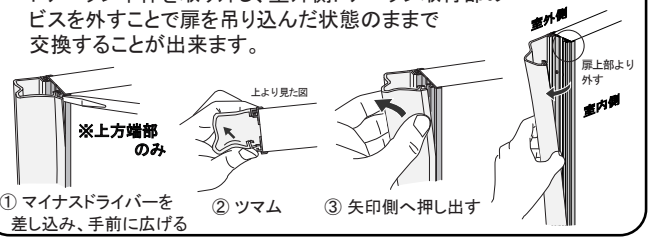


※上から下まで確実にはまっているか確認してください。

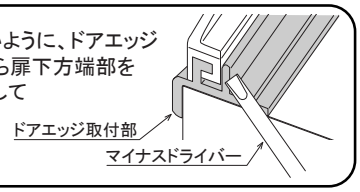
① 扉を横にし、ドアエッジ取付部の溝にドアエッジ本体（室外側）の溝を合わせ、扉上部よりスライドさせて取付けてください。

② ドアエッジ本体（室内側）を全体がなじむようにはめ込んでください。室内側は脱着可能です。

※ドアエッジ表面に亀裂などが生じた場合は、室内側よりドアエッジ本体を取り外し、室外側ドアエッジ取付部のビスを外すことで扉を吊り込んだ状態のままで交換することが出来ます。

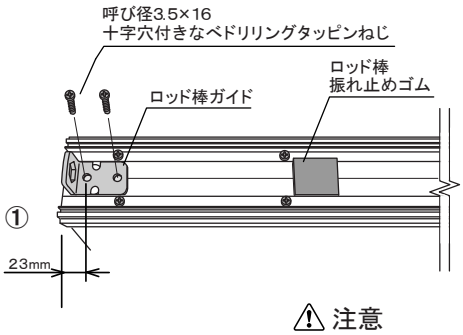


※ドアエッジ本体が滑り落ちないように、ドアエッジ取付部(室外側)を押さえながら扉下方端部をマイナスドライバーを叩くなどしてカシメてください。

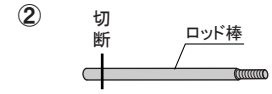


8 錠の取付け

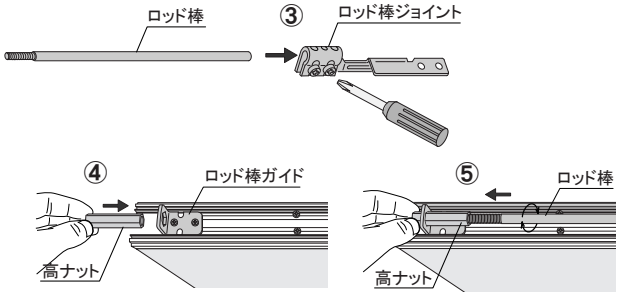
鍵付きタイプ のみ



⚠ 注意
ねじを切っていない側を切断してください。



ロッド棒カット寸法
L=A−100
L:ロット棒長さ（高ナットをつけていない状態）
A:扉上面から錠中心までの距離



●ロッド棒ガイドの取付け

① 扉上面より23㎜の位置にロッド棒ガイドを呼び径3.5×16十字穴付きなべドリリングタッピンねじで取付けます。

●ロッド棒の取付け

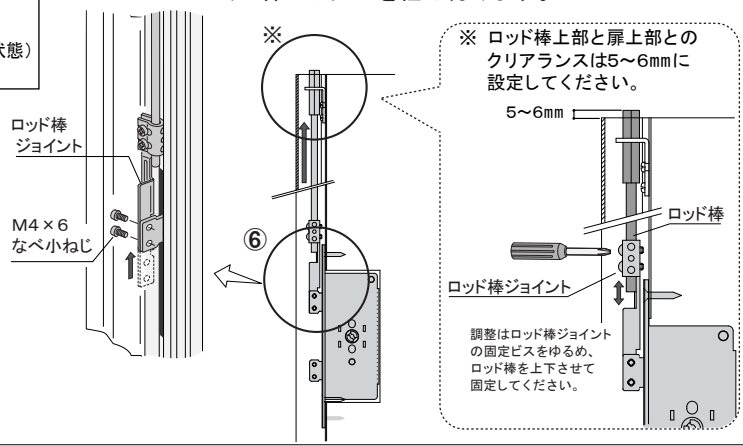
② ロッド棒を指定の長さにカットします。

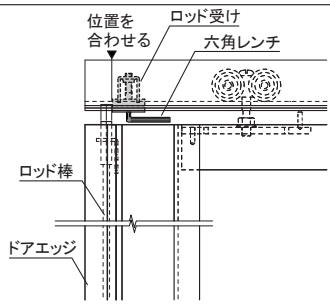
③ カットしたロッド棒をロッド棒ジョイントに取付けます。

④ ロッド棒ガイドにM6×50高ナットを差し込みます。

⑤ M6×50高ナットにロッド棒を取付けます。
高ナットは奥まで締め付けてください。

⑥ ロッド棒を上にあげ、M4×6なべ小ねじ（青色メック付き）でロッド棒ジョイントを組み付けます。



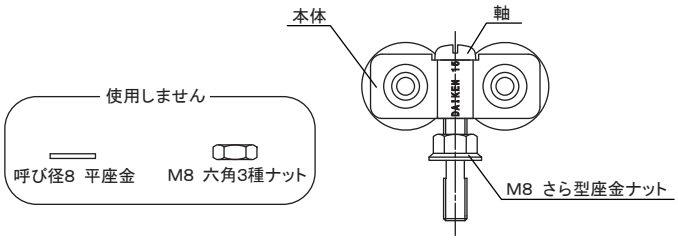


●ロッド受けの取付け（扉吊り込み後）

① レール取付時に挿入したロッド受けを、ロッドが上がった状態の時に当たる位置に移動させ、六角レンチでしっかりと固定します。

取　付　け　手　順

1 複車の組立て

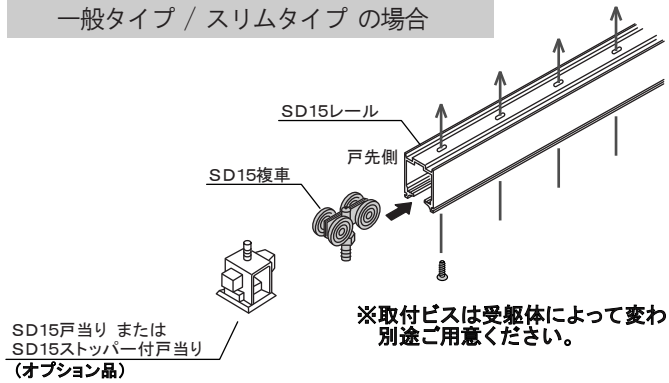


① SD15複車の軸に、SD15複車が入っている箱に同梱されているM8 皿型座金ナットを図の向きで取付ます。

⚠
SD15複車が入っている箱に同梱されている『呼び径8 平座金』及び『M8 六角3種ナット』は使用しませんので捨てて下さい。

2 レールの取付け

一般タイプ / スリムタイプ の場合



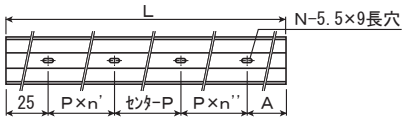
① 取付け位置に合わせSD15レールをカットします。

② レールを取付ける前に、あらかじめSD15複車をレールの中に挿入します。

⚠
（オプション品を使用する場合はオプション品の入れ忘れに注意！）

③ 取付け穴に合わせてレールを所定の位置に取付けます。

※取付け穴は約300mmピッチであいています。

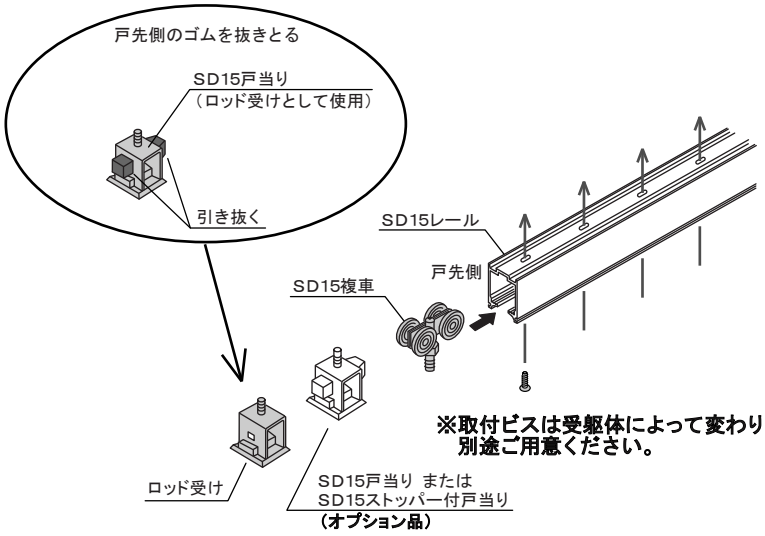


サイズ	取付穴ピッチ				穴数
L	P×n'	ｾﾝﾀｰP	P×n''	A	N
1820	295×3	295	295×2	25	7
2730	298×4	296	298×4	25	10
3640	299×6	301	299×5	25	13

⚠ 注意

- ●レールを連結する際には必ずオプション品の連結ピンをご使用ください。
  また、切断面のカエリは完全に削りとってください。
- ●オプション品の取付方法はP8のオプション部品の取付手順を参照してください。

鍵付きタイプ の場合



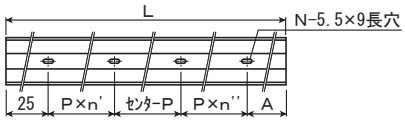
① 取付け位置に合わせSD15レールをカットします。

② レールを取付ける前に、あらかじめSD15複車をレールの中に挿入し、戸先側最端部にロッド受けを挿入します。

⚠
（オプション品を使用する場合はオプション品の入れ忘れに注意！）

③ 取付け穴に合わせてレールを所定の位置に取付けます。

※取付け穴は約300mmピッチであいています。



サイズ	取付穴ピッチ				穴数
L	P×n'	ｾﾝﾀｰP	P×n''	A	N
1820	295×3	295	295×2	25	7
2730	298×4	296	298×4	25	10
3640	299×6	301	299×5	25	13

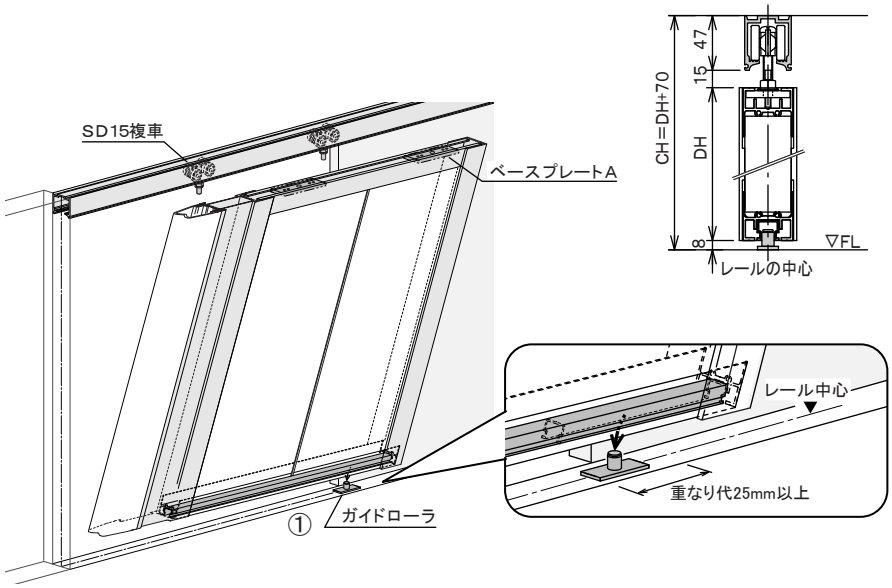
⚠ 注意

- ●レールを連結する際には必ずオプション品の連結ピンをご使用ください。
  また、切断面のカエリは完全に削りとってください。
- ●オプション品の取付方法はP8のオプション部品の取付手順を参照してください。

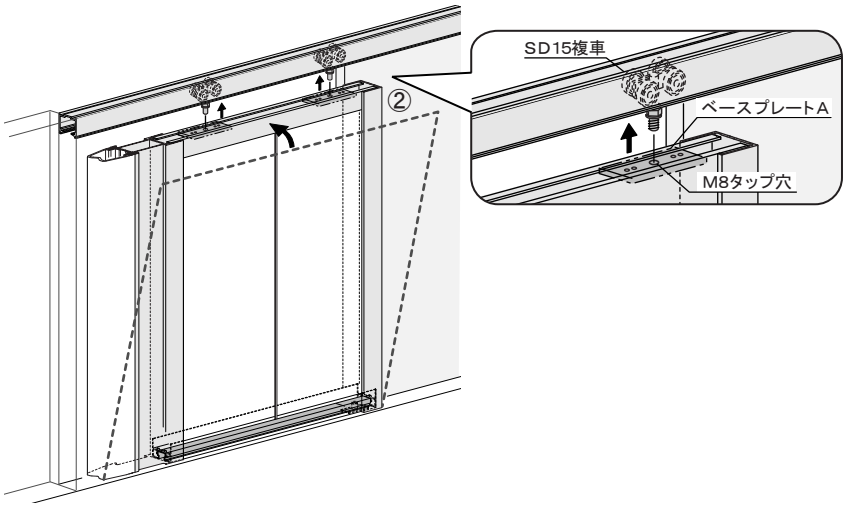
取　付　け　手　順

3 扉の吊り込み

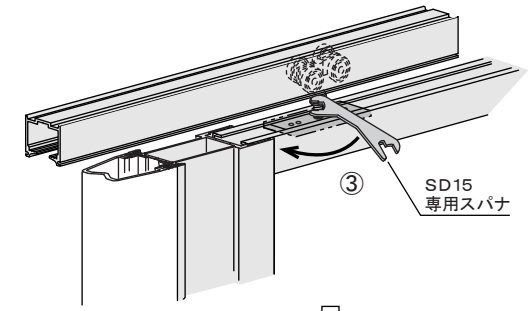
全タイプ共通



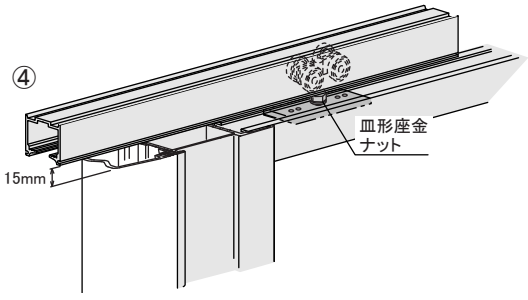
① ガイドローラを納まり図に従い取付け、扉のガイド溝をガイドローラに落とし込みます。



② SD15複車の軸を上に持ち上げた状態で扉を起こし、垂直にします。



③ SD15複車の軸をベースプレートAのM8タップ穴に合わせ、SD15専用スパナで軸を回転させ扉を吊り上げます。

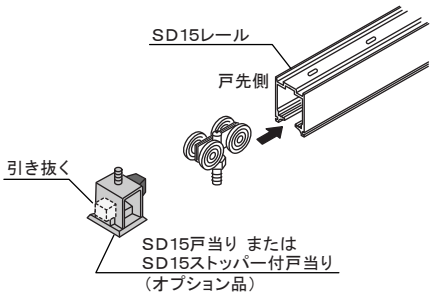


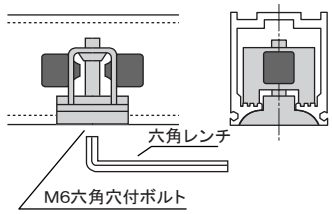
④ レール下部と扉の上面とのスキマが15mmになるまで吊り上げ、皿形座金ナットをプレート側に強く締め付けてください。

※ 扉を吊り込んだ後、扉が水平でない場合、SD15複車の軸を専用スパナで回転させて水平になるように調整してください。

オプション部品の取付手順

●SD15戸当り/SD15ストッパー付戸当り の取付け方





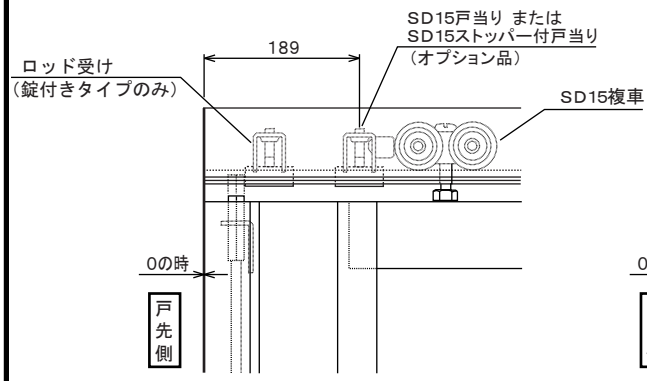
●あらかじめレールに挿入してください。

●扉を止めたい位置にSD15戸当りもしくはストッパー付戸当りを移動し、六角レンチで固定してください。

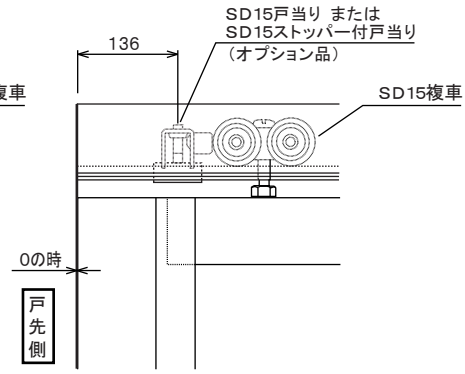
●戸当りを端部の戸当りとして使用する場合は外側のクッションを取り除いてください。
（強く引っ張れば外れます。）

●戸当り/ストッパー付戸当りを戸先側の戸当りとして使用する場合は、外側のクッションを取り除いた上で図の位置に取付けてください。
（強く引っ張れば外れます。）

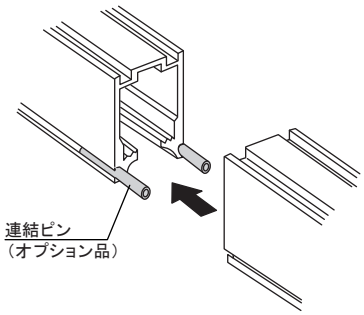
一般・錠付きタイプの場合



スリムタイプの場合



●連結ピン の取付け方



●連結するいずれか一方のレール溝に左右の連結ピンをあらかじめ半分挿入して、他方のレール端を叩いてバランス良く取付けてください。

●レールを左右に動かせない場合は、一方のレール溝に全部挿入しておき、仮止め後、レール同士を合わせながらマイナスドライバーでレール側面より連結ピンの端部をたたき、レールの継ぎ目中央まで移動してください。

株式会社 ダイケン

本　　社　〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号
　　☎(06)6392-5321　FAX (06)6397-8600
ホームページ　http://www.daiken.ne.jp

札幌支店・☎(011)232-3017
東京支店・☎(03)3633-6551
名古屋支店　☎(0586)77-7561
大阪支店・☎(06)6392-5556
盛岡営業所　☎(019)629-2202
仙台営業所・☎(022)235-4380
埼玉営業所　☎(048)667-9381
神奈川営業所　☎(045)316-3901
静岡営業所　☎(054)237-5375
岡山営業所　☎(086)297-9100
広島営業所　☎(082)294-9181
福岡営業所　☎(092)482-8112
東京西出張所　☎(042)567-1338
ホームセンター課　☎(03)3633-6552